施工説明書

TOTO

大便器自動フラッシュバルブ　オートクリーンC（コンビネーションタイプ・既設取り替えタイプ・発電タイプ）

TEFV74M1型
TEFV84M1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

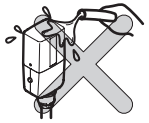
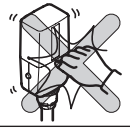
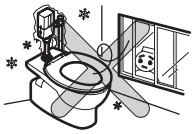
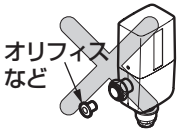
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

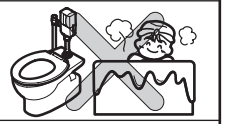
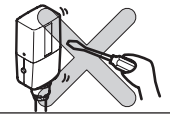
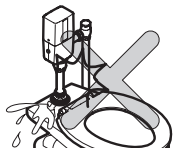
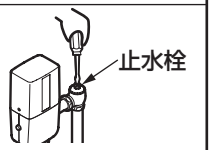
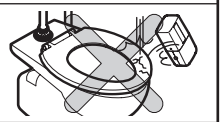
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注　意

禁止	**機能部に水をかけない** 故障の原因になります。	
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	

⚠ 注　意

水場使用禁止	**浴室など湿気の多い場所には設置しない** 故障の原因になります。	
分解禁止	**分解したり、修理・改造は絶対に行わない** 故障の原因になります。	
必ず実行	**空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする** 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける 故障や水漏れの原因になります。	
	ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う （取扱説明書を参照してください） 水が噴き出て、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	バルブ本体は重いため取り扱いには十分に注意する 便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。	
	作業時は手袋など適切な防護具を使用する 予期せずけがをするおそれがあります。	

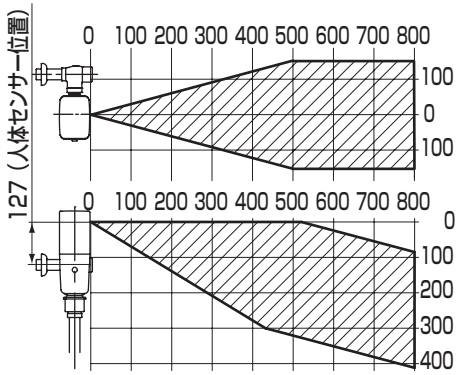
2-1 取り付け前に

1.取付条件の確認

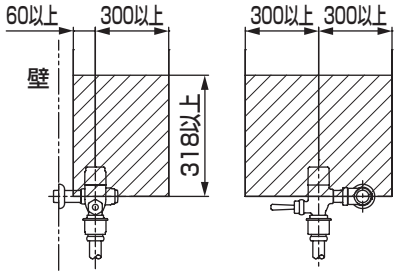
（単位：mm）

●TOTOの便器の種類に応じた商品を選定してください。
他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。
下記A～Dへの場合は取り付けできませんので事前にご確認ください。

A. 下記感知領域内に障害物がある場合

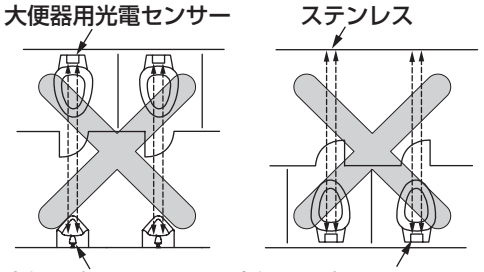


C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合
（斜線は必要空間寸法）



※カウンターが飛び出したりしている場合はご注意ください。

B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合



D. 背もたれ・トイレアームレスト、簡易昇降便座・パウチ・しびん洗浄水栓

人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

2.センサーについて

●太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合や誤作動する場合があります。

●男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。

●誤感知する場合がありますので、使用後、または清掃後は便座を下げてください。また、便ふたは必ず取り外してください。

●施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

3.洗浄水について

●TEFV74M1型は水道水のみ、TEFV84M1型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス ： http://www.com-et.com/kiki/

4.その他

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

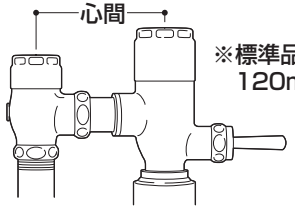
●水道工事と電気工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。

●オートクリーンC本体の給水方向は、左右どちらにも対応できます。

●給水排水心間
現場施工時、配管側に寸法のずれがあった場合は、右記の対応部材をご使用ください。

品番	仕様
TH342-2	心間156mm
TH342-5	心間180mm

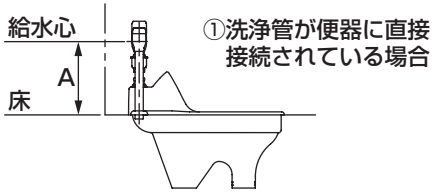
※TH348型およびTHD59型の連結管は接続できません。
※心間100mmは対応できません。

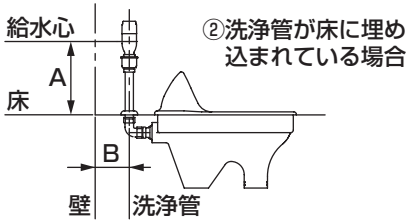


※標準品は120mmです。

4.その他（つづき）

●和風便器に設置する場合は下記条件にご注意ください。



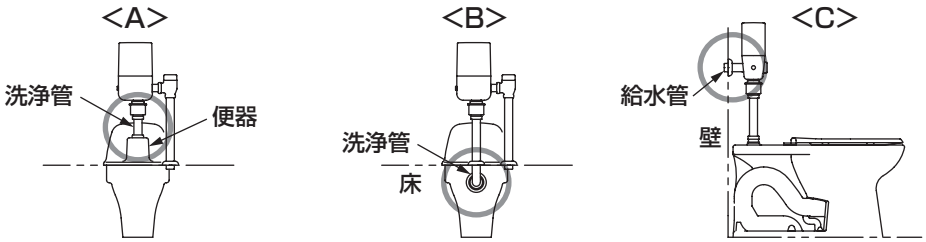


床から給水心までの高さ（A）が320mm未満の場合は、別売品の給水管（品番：402562A）および、洗浄管（※1）への交換が必要です。

※1 水道水を使用する場合は品番:401206
井戸水・再生水・雑用水を使用する場合は
品番：418361

床から給水心までの高さ（A）が280mm以上の場合は、洗浄管が埋め込まれた状態で、洗浄管を適切な長さにカットする必要があります。
壁から洗浄管までの距離（B）がパイプカットできるだけの空間を確保できるか事前にご確認ください。

●下図A～C以外の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。

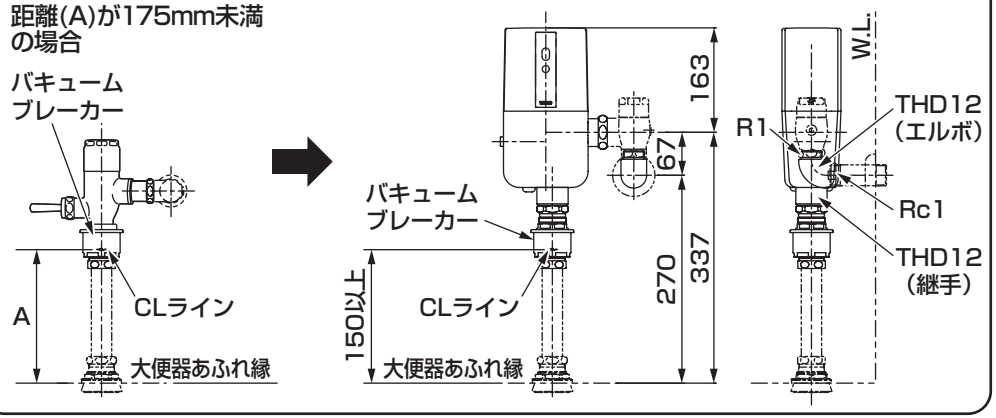


●汚物流しにはセットできません。

●バキュームブレーカーの取り付けについて
・バキュームブレーカーは、便器のあふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまで150mm以上になるように設置してください。
・給水高さを変更できない既存の壁給水配管をそのまま利用するリモデルなどの場合で、便器のあふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまでの距離(A)が175mm以上確保できない場合は必ず別途、壁給水用接続金具(THD12)をご発注ください。THD12のエルボ取り付けにより、給水位置が高くなりますが、オートクリーンC本体とバキュームブレーカーの間にTHD12の継手を接続するため、バキュームブレーカーの取り付け高さは変わりません。洗浄管は既設品をそのまま使用することができます。（下図はオートクリーンC本体とTHD12のセット）

<取り替え前の状態>　　<取り替え後の状態>　　（単位：mm）

距離(A)が175mm未満の場合



3 施工時の注意事項

スイッチユニット（別売品）について

●発電タイプは、組み合わせるスイッチユニットが無線タイプ（TES46M、47M型）となります。

●有線タイプ（TES46U、47U型）のスイッチユニットとはセットできません。

●THE28（人体感知センサーユニット）はセットできません。

スイッチユニットをセットする際は、必ずスイッチの同期設定を行ってください。
スイッチの同期を行わない場合、製品が正常に作動しませんのでご注意ください。

※同期の取りかたは、スイッチユニットの施工説明書をご確認ください。

4 仕様

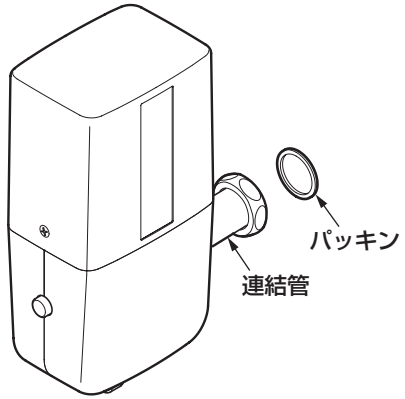
タイプ		コンビネーションタイプ（既設取り替えタイプ・発電タイプ） 露出タイプ
取り替え可能な 既設フラッシュバルブ (寒冷地タイプは除く)		TV150型、TV750型、TV850型
洗浄水量調節範囲	大	8～16L調節可能
	小	6～10L調節可能
工場出荷時標準洗浄水量		大：10L／小：7L
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
商品寸法		カバー外寸：132(幅) × 235(高さ) × 92(奥行き)
電源		発電機＋バックアップ電池
人体感知距離		自動調節：500～800mm（手動調節：500～900mm未満に調節可能） ※白紙□300mmの場合
人体感知時間		6秒間以上
自動洗浄開始時間		人体感知が切れて10秒後または6秒後に設定可能　※工場出荷時：10秒
小洗浄判定時間		120秒または150秒に設定可能　※工場出荷時：120秒
自動洗浄		入/切　切替可能　※工場出荷時：入
大小洗浄		大/大小　切替可能　※工場出荷時：大小
設備保護洗浄		24時間洗浄がない場合は自動洗浄します 入／切　切替可能　※工場出荷時：入
給水接続部		25A（ねじサイズ：R1）
使用環境温度		1～40℃
使用水		TEFV74M1型：水道水のみ
		TEFV84M1型：水道水、井戸水、再生水、雑用水

（注）井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。
ホームページアドレス：http://www.com-et.com/kiki/

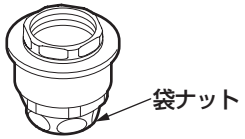
5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

オートクリーンC本体部

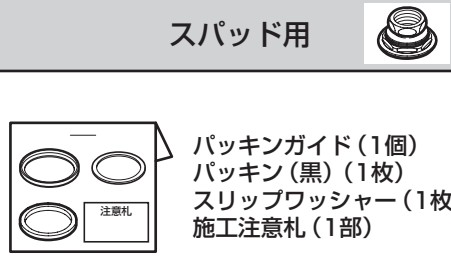


オートクリーンC本体



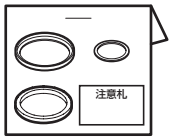
バキュームブレーカー

スパッド用



パッキンガイド（1個）
パッキン（黒）（1枚）
スリップワッシャー（1枚）
施工注意札（1部）

バキュームブレーカー用



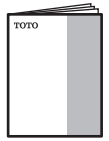
パッキンガイド（1個）
パッキン（黒）（1枚）
パッキン（青）（1枚）
施工注意札（1部）

そ の 他

施工説明書

使いかたラベル

必ずお客様にお渡しください



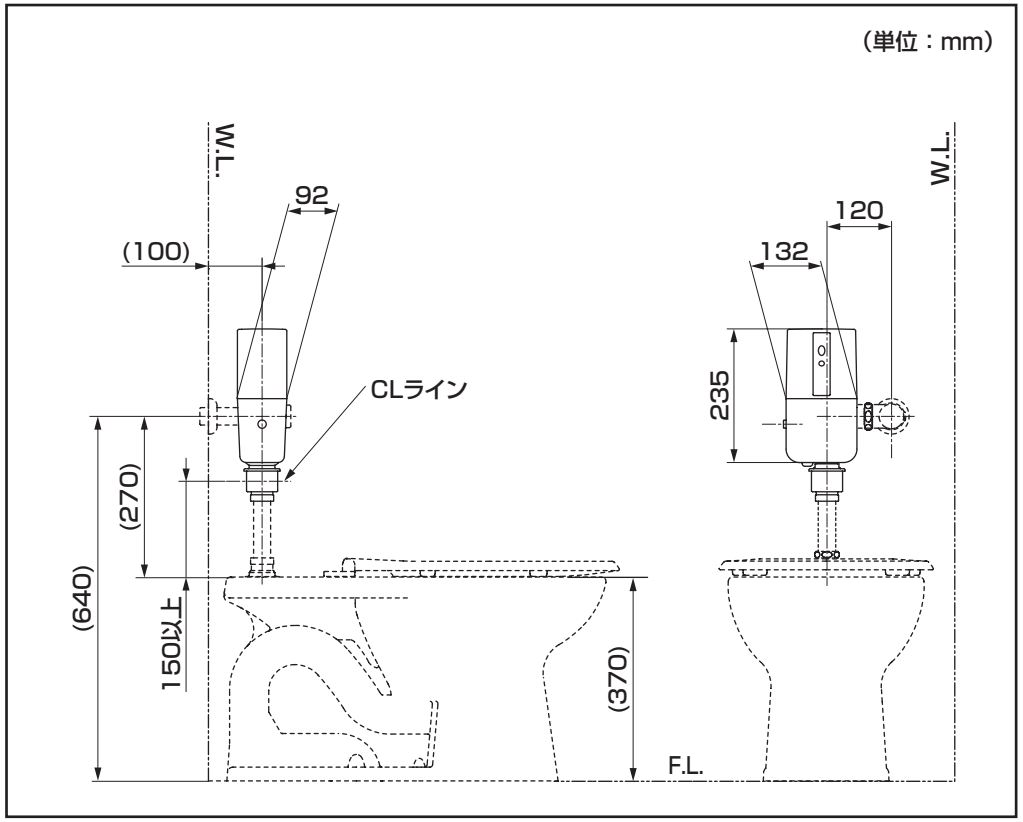
取扱説明書

掃除用磁石

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6 完成図

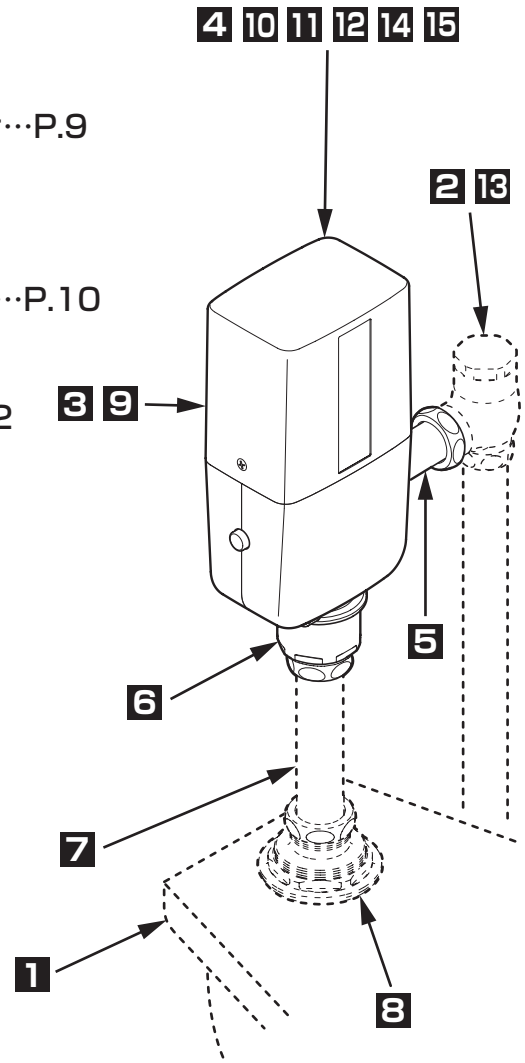
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※バキュームブレーカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。
「CL」(Critical Installation Level)とは、バキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

7-1 施工手順

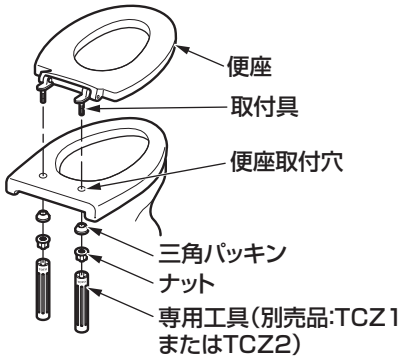
1 便ふたの取り外し（腰掛便器の場合）…P.6
2 止水栓を閉める…P.6
3 既設フラッシュバルブ本体の取り外し…P.6
4 洗浄水量の調節…P.6～8
5 連結管を交換する場合…P.8
6 バキュームブレーカーの取り付け…P.9
7 洗浄管の切断…P.9～10
8 スパッドへの取り付け…P.10
9 オートクリーンC本体の取り付け…P.10
10 コネクターの接続…P.10
11 切替スイッチの調節…P.11～12
12 スイッチの同期…P.12
13 水勢の確認…P.12
14 試運転…P.13
15 上カバーの取り付け…P.13



1 便ふたの取り外し(腰掛便器の場合)

<便ふたスペーサーを取り付ける場合>

<便ふたなしの便座に取り替える場合>



注　意

- **便ふたがあると人体感知できないため、便ふたを取り外し、専用の便ふたスペーサーを取り付けてご使用ください。**
  便ふたスペーサーの品番は、便座のタイプに応じて選定してください。
  当社各支社技術相談室へお問い合わせください。
- **TC291、TC301、他社製便座の場合、便ふたなし便座に取り替えて使用してください。**

2 止水栓を閉める

①止水栓カバーがある場合、取り外す。

注　意

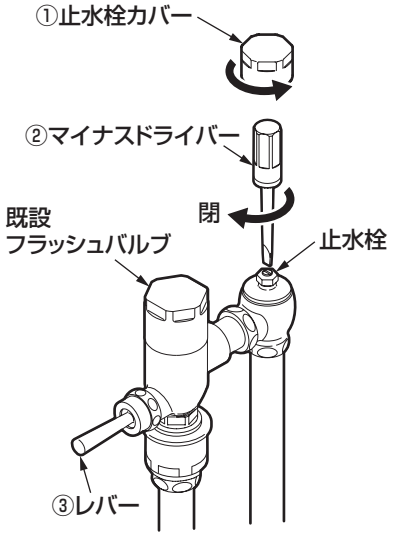
工具を使用する場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟んでください。

②既設フラッシュバルブの止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して閉める。

③レバーを数回押して水が止まったことを確認する。

注　意

和風便器のフラッシュバルブを取り替える場合は、給水元栓を閉めてください。



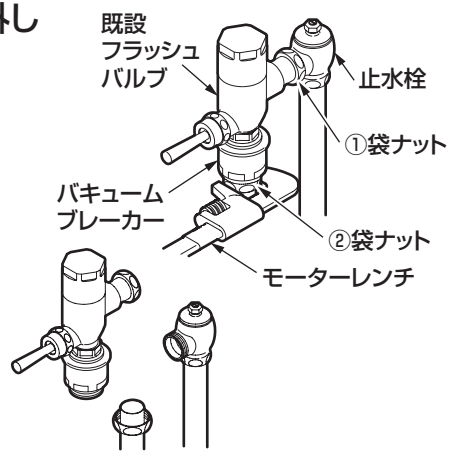
3 既設フラッシュバルブ本体の取り外し

①止水栓側面の袋ナットをゆるめる。

②バキュームブレーカー側の袋ナットをゆるめ、バキュームブレーカーごと既設フラッシュバルブ本体を取り外す。

注　意

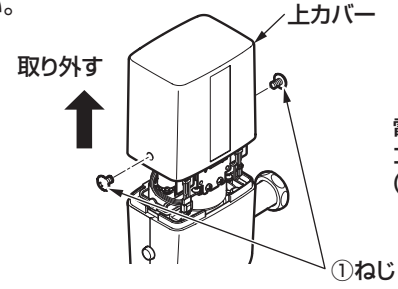
- **共回りを防ぐため、バキュームブレーカーの袋ナットを外すときは、バキュームブレーカーをモーターレンチなどで押さえて取り外してください。**
- **取り外し時に残水が出ますので、タオルなどでふき取ってください。**

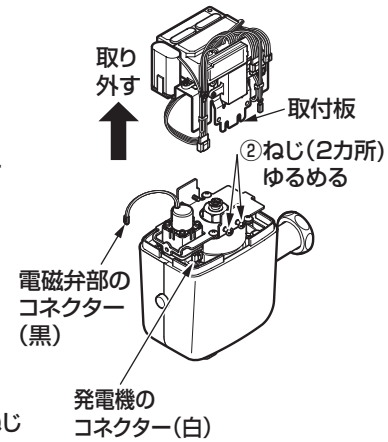


4-1 洗浄水量の調節

①上カバーを固定しているねじ(2カ所)を外し、上カバーを取り外す。

②ねじ(2カ所)をゆるめ、取付板部を取り外してください。





③【便器のタイプと設定方法】に従い、**必ず「大洗浄」と「小洗浄」の両方の洗浄水量を調節してください。**
取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより、高い節水効果が得られます。
洗浄水量調節は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

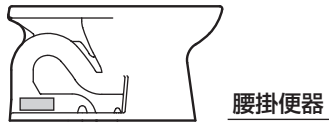
注　意

マイザレットおよび P.7 の表に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。
切替方法は「7-7 7-8 切替スイッチの調節」を参照してください。

【品番の確認方法】

下図を参考にして、便器の品番を確認する。

・・・・・品番確認位置



4-2 洗浄水量の調節（つづき）

【便器のタイプと設定方法】

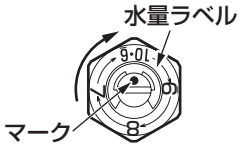
＜例＞腰掛便器「C480N」の場合（標準洗浄水量：大8L／小6L）

●大洗浄水量
洗浄水量調節スイッチを小洗浄水量に加える水量の記号**「C」**にあわせる。

C	D	E	F
+2L	+3L	+4L	+5L

大洗浄水量
調節スイッチ

●小洗浄水量
バルブの調節ねじのマークを数値6と10の間の**「●」**にあわせる。

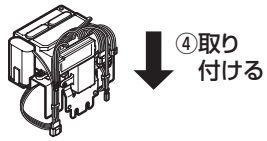


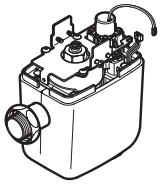
小洗浄水量調節ねじ

	腰掛便器								和風便器	
便器の品番（TOTO品番）	C14	C21N CS210CN（注1） C426・C480A CS480C（注1） C550RU C743PVRS		C425	C140系	C111・C21R CS210C（注1） C40・C40C C454PVR C48・C48AS CU714V	C426R C480AN C480N・C480S CS480CN（注1） C550SU C743PVN		C750AV C755系 C756系	左記以外の和風便器
大洗浄（洗浄水量調節スイッチ）	10L 工場出荷状態	10L 工場出荷状態	11L （注3）	11L	8L	13L	8L	9L	8L	11L
小洗浄（バルブの調節ねじ）	7L 工場出荷状態	7L 工場出荷状態		7L 工場出荷状態	6L	10L （注2）	6L	7L （注3） 工場出荷状態	6L	6L

注1：大小洗浄機能を「大小」から「大」へ切り替えてください。（**「7-7 7-8 切替スイッチの調節」**を参照してください）
注2：調節ねじを水量ラベルの矢印と反対方向に回して10と6の間の「●」にあわせてください。
注3：給水圧力が0.07～0.1MPa未満(流動時)の場合にあわせてください。

④洗浄水量の調節が完了した後、給水方向を確認し、取付板部をオートクリーンC本体に取り付けてください。





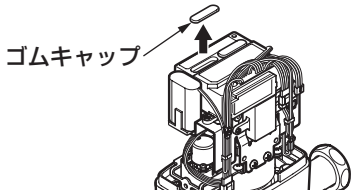
※この作業はオートクリーンC本体を洗浄管に差し込む前に行ってください。
差し込み後は取付板のねじ(2カ所)が外せませんのでご注意ください。

注 意
電磁弁部および発電機のコネクターが破損しないように注意してください。

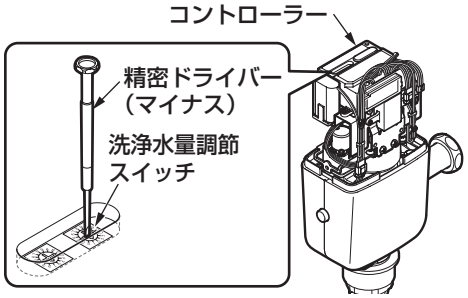
4-3 洗浄水量の調節（つづき）

【大洗浄水量の設定方法】

①コントローラーの左側のゴムキャップを外す。



②適正水量に調節する。
精密ドライバー（マイナス）などで適正水量に調節してください。適正水量についてはP.7の表を参照してください。



【小洗浄水量の設定方法】

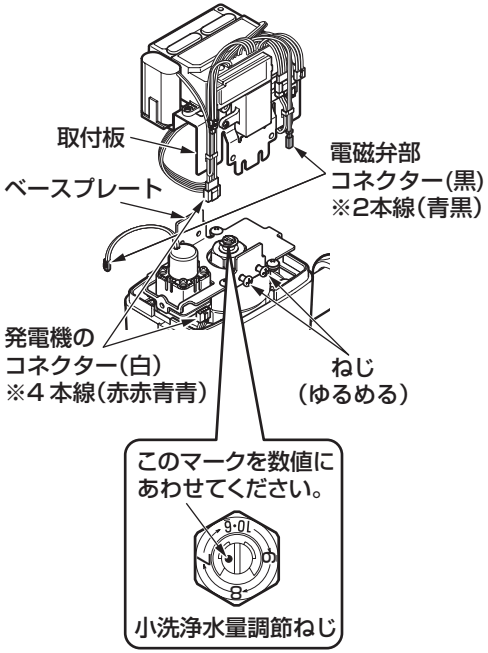
①電磁弁部コネクター(黒)、発電機のコネクター(白)を外す。

②ベースプレートのねじ（2カ所）をゆるめて、取付板を外す。

③調節ねじ部の水量ラベルを参考にしながら、マイナスドライバーで調節する。

※小洗浄調節中に現在の設定水量位置を見失ったときは、１度調節ねじを時計回りに止まるまで（全閉）回してください。
この位置から反時計回りに回して最初の「7」にマークをあわせると、約7Lに設定できます。
ただし、全閉時にマークが「7」近くにある場合は、反時計回りに約1回転回して「7」にあわせてください。

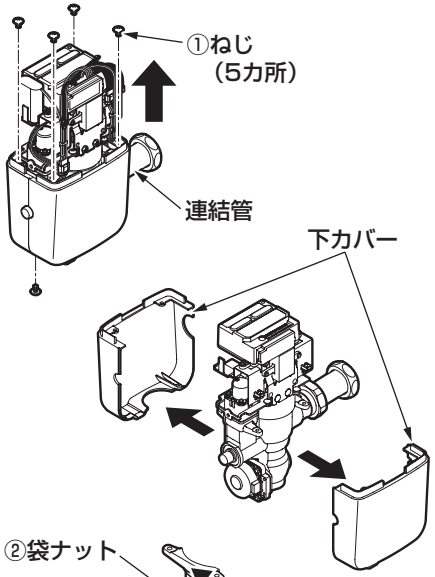
④水量を調節したあとは、ベースプレートのねじ（2 カ所）で取付板を固定し、電磁弁部コネクター（黒）、発電機のコネクター（白）を接続する。



5 連結管を交換する場合

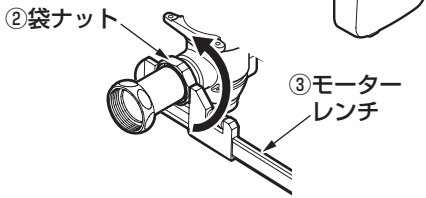
給水排水心間にずれがあった場合は、連結管を交換する必要があります。
対応部材については 2-1 2-2 4.その他 の「給水排水心間」を参照してください。

①下カバーを固定しているねじ（5カ所）を外し、下カバーを取り外す。



②モーターレンチでオートクリーンC本体の袋ナットを外す。

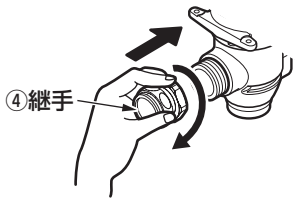
③パイプレンチなどの工具で連結管の継手を取り外す。



④ご購入いただいた連結管の継手を手で矢印の方向に止まるまで回す。

⑤袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。

⑥下カバーをオートクリーンC本体にねじ（5カ所）で取り付ける。



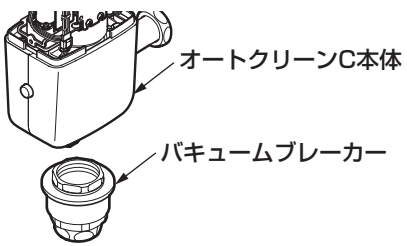
注　意

工具を使用する場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟んでください。

裏面へつづく

6 バキュームブレーカーの取り付け

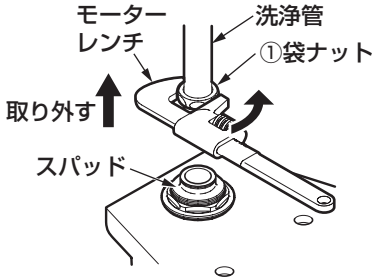
オートクリーンC本体にバキューム
ブレーカーを取り付ける。



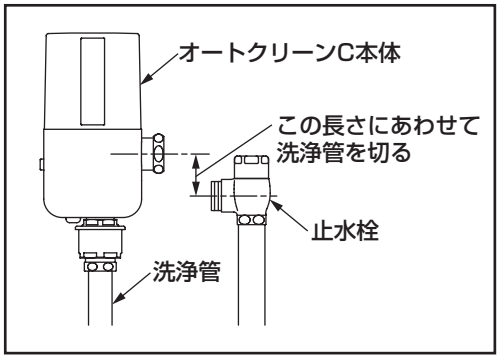
7-1 洗浄管の切断

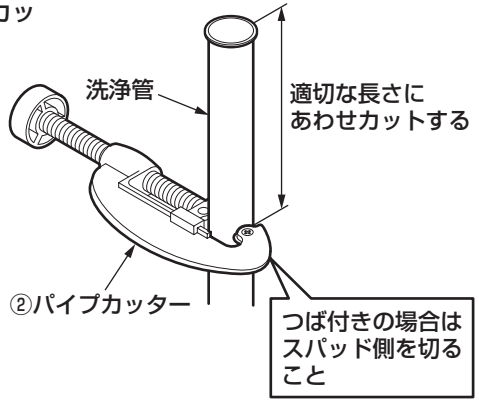
腰掛便器にフラッシュバルブが直接接続されている場合

①スパッドの袋ナットをゆるめ、洗浄管と袋ナットを取り外す。



②現場の設置状態にあわせて洗浄管をパイプカッターで適切な長さに切断する。





注　意

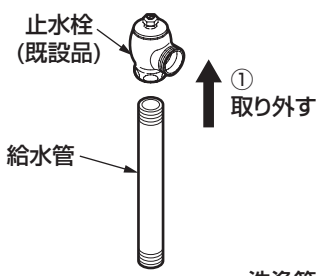
切断面のバリを取ってください。

和風便器にフラッシュバルブが直接接続され、かつ、床から給水心までの高さ(A)が320mm未満の場合

止水栓を取り外す際は、現場の元栓を閉めてから作業を行ってください。

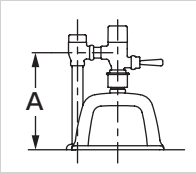
①給水管と止水栓を床から取り外す。

②給水管(別売品:402562A)に①で外した止水栓を取り付け、床下の給水配管に接続する。

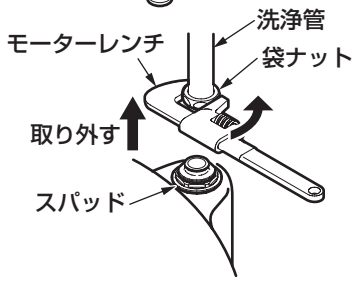


注　意

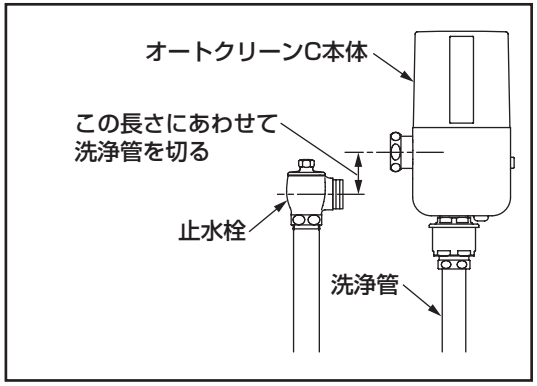
A寸法が320mm以上の場合は、給水管の交換は不要です。パイプカッターで洗浄管を適切な長さに切断してください。

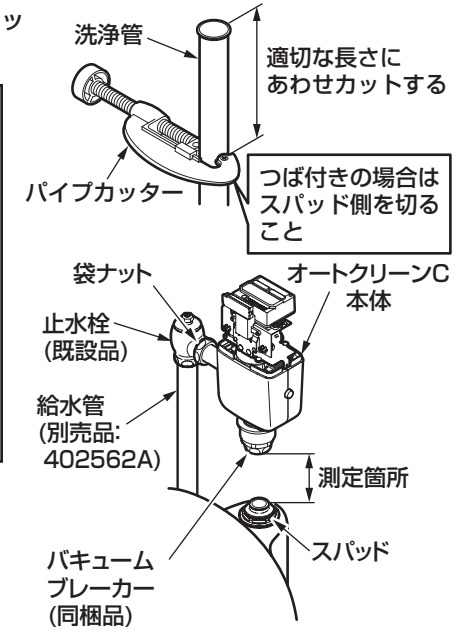


③スパッドの袋ナットをゆるめ、洗浄管と袋ナットを取り外す。



④現場の設置状態にあわせて洗浄管をパイプカッターで適切な長さに切断する。





注　意

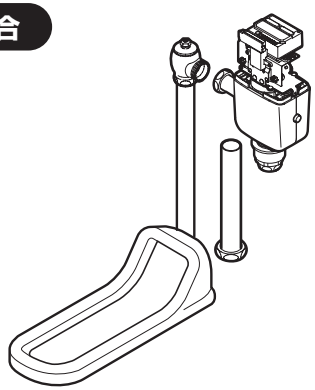
切断面のバリを取ってください。

7-2 洗浄管の切断（つづき）

和風便器で、洗浄管が床に埋め込まれている場合

洗浄管が床に埋め込まれた状態でパイプカッターで適切な長さに切断する。

※パイプカッターが給水管に当たる場合は、一度給水管を外してパイプを切断してください。

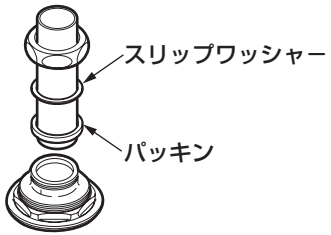


8 スパッドへの取り付け

洗浄管をスパッドに取り付ける際は、使用済みパッキンとスリップワッシャーまたはパッキンガイドを同梱のパッキンとスリップワッシャーまたはパッキンガイドにお取り替えください。

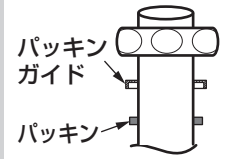
注　意

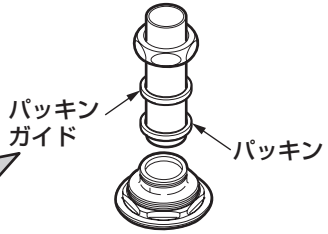
- **パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。**
- **スパッドのサイズによりスリップワッシャータイプとパッキンガイドタイプがありますので既設使用と同じ組み合わせで取り替えてください。**
- **組み合わせのAタイプとBタイプのパッキンは共通品です。**



組み合わせ Aタイプ

パッキンガイドの向きに注意してください。





組み合わせ Bタイプ

9 オートクリーンC本体の取り付け

①バキュームブレーカーに洗浄管の袋ナットを接続する。

②オートクリーンC本体の継手部の袋ナットにパッキンを入れ止水栓に差し込む。

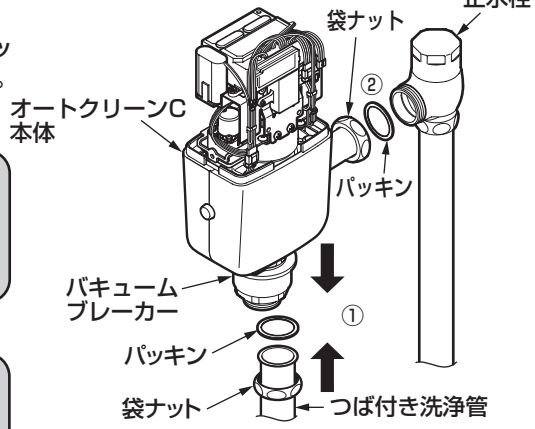
注　意

洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。

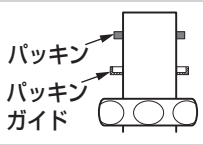
注　意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

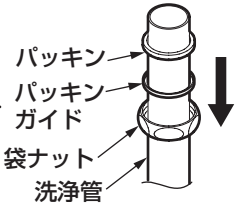
つば付き洗浄管の場合



つばなし洗浄管の場合



パッキンガイドの向きに注意してください。



10 コネクターの接続

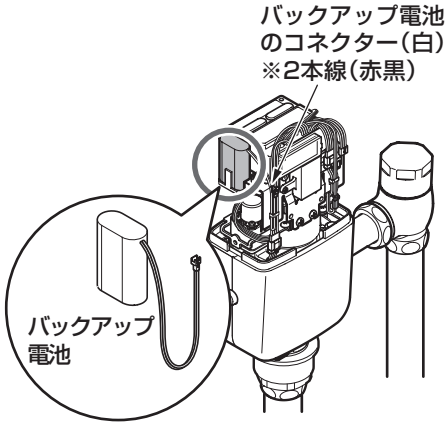
バックアップ電池のコネクターを接続する。

※コネクター接続後、センサーが感知可能になるまでに約2分かかります。

※なお、未接続の白色コネクター（3本線）が1つ残りますが問題ありません。

注　意

コネクター接続後10分間は、感知するたびに人体センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点滅しますが、その後は、感知しても点滅しません。



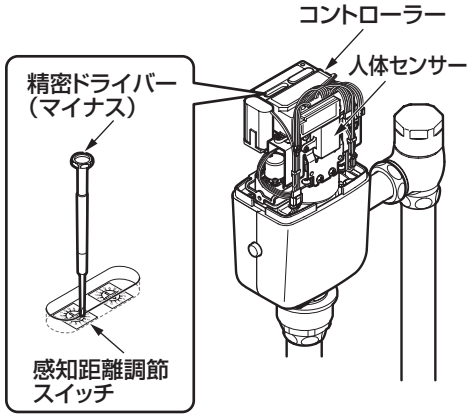
11-1 切替スイッチの調節

以下の設定を行うには上カバーを取り外していただく必要があります。
上カバーの取外要領は、「7-2 ー 4 洗浄水量の調節」を参照してください。

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定（人体センサー）

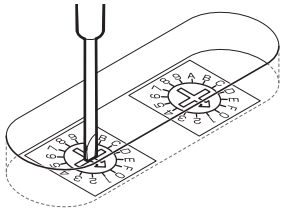
コネクターの接続が完了後、3分以上経っても人体センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合は、自動調節がうまくできていないため、手動での感知距離の設定を行ってください。



コントローラー左側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

①人体センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合
…感知距離調節スイッチを「0」から「5」へ回す。

②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。



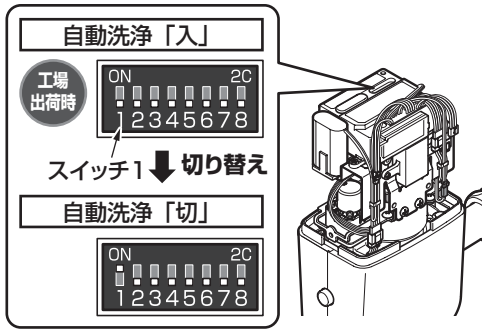
※人体センサーの感知表示ランプが消灯したら設定完了です。

スイッチ	0	1	2	3	4	5
感知距離（単位：mm）	自動調節	500	600	700	800	900

※出荷時は「スイッチ0：自動調節」に設定してあります。

以下の設定を行うには、コントローラー右側のゴムキャップを外し調節してください。

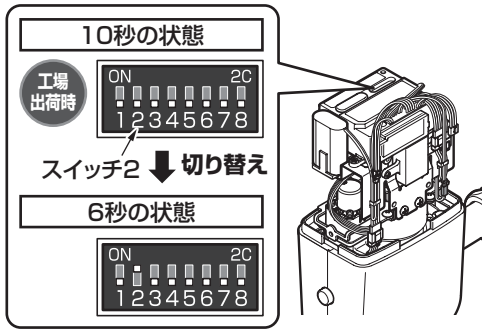
自動洗浄切替方法



スイッチ1を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。
自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ1をONに切り替えてください。

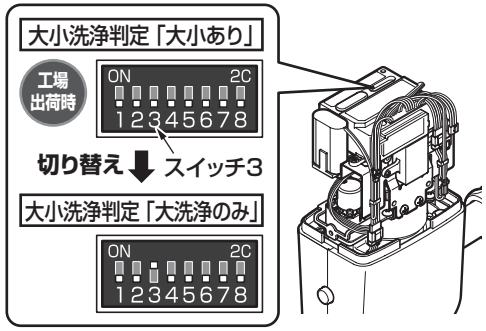
自動洗浄開始時間の切替方法



スイッチ2を切り替える。

工場出荷時は10秒に設定していますが、自動洗浄までの待ち時間が長く感じる場合は、6秒に切り替えてください。
スイッチ2をONに切り替えて自動洗浄開始時間を6秒に設定することもできます。

大小洗浄切替方法

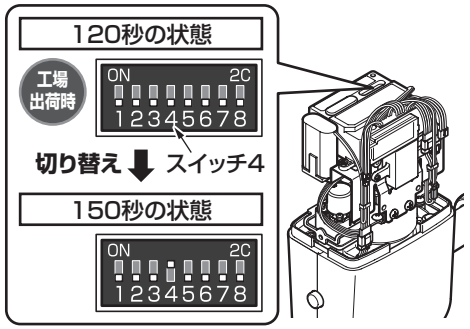


スイッチ3を切り替える。

工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。
大小洗浄の判定を行わない場合は、スイッチ3をONに切り替えてください。

11-2 切替スイッチの調節（つづき）

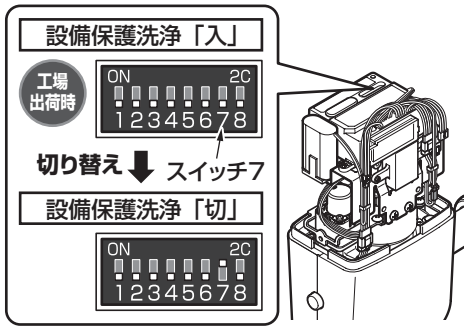
小洗浄判定時間切替方法



スイッチ4を切り替える。

人体センサーの感知時間により大／小便を判定して適正水量を流します。
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4をONに切り替えることで、150秒に設定することもできます。

設備保護洗浄の切替方法



スイッチ7を切り替える。

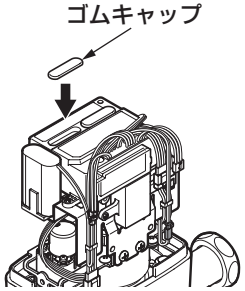
24時間洗浄がない場合は配管を保護するため、自動的に洗浄します。
設備保護洗浄をオフにする場合は、スイッチ7をONに切り替えてください。

12 スイッチの同期

①スイッチ(別売品:TES46M／TES47M)との同期設定を行う。

※同期の取りかたは、スイッチの施工説明書をご確認ください。

②スイッチの同期が完了したら、コントローラーのゴムキャップを取り付ける。



13 水勢の確認

※この作業を行なう際は 10 コネクターの接続が完了後、2分以上経ってから行なってください。

①手動洗浄ボタンを押した状態で、水勢を確認しながら止水栓を開ける。

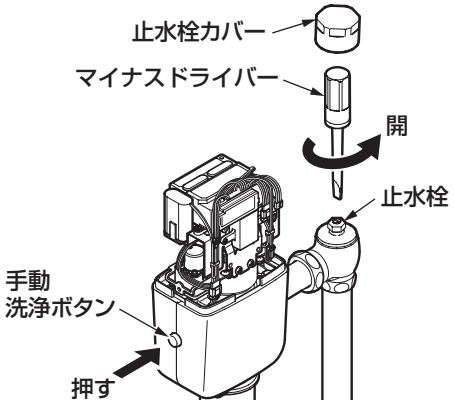
※便器から水の飛び出しがないように注意してください。

②水漏れがないか確認する。(P.14参照)

③止水栓カバーを取り付ける。

注　意

工具を使用する場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟んでください。



14 試運転

●本商品はバックアップ電池のコネクターを接続後、作動するまで2分間必要です。
●試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。(カバーのねじ固定は不要です)

自動洗浄

①人体センサーを感知させると、感知表示ランプが点滅します。
②6秒以上点滅させたあと、感知を外すと、感知表示ランプが消灯します。
③感知表示ランプが消灯したあと、約10秒後に洗浄水が自動で流れる ことをご確認ください。
ただし人体センサーの感知表示ランプの点滅はバックアップ電池のコネクター接続後、約10分間ですのでご注意ください。感知表示ランプを再度点滅させるには、バックアップ電池についている白色のコネクターを抜いて、人体センサーの4秒周期の点滅が始まったら再度、コネクターを入れてください。

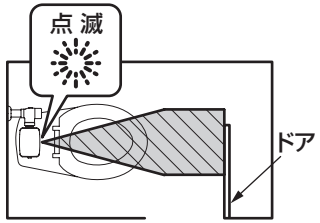
また、洗浄開始から約5秒間、人体センサーの感知表示ランプが点灯することをご確認ください。ただし、押ボタンでの洗浄時は感知表示ランプは点灯しません。万一、洗浄時に人体センサーの感知表示ランプが点灯しない場合は、何らかの原因で発電機が故障していますので、**TOTOメンテナンス(株)(TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02)**へ修理をご依頼ください。

感知表示ランプが消灯しない場合

立ち去っても感知表示ランプが消灯しない場合

感知距離を自動調整します。3分以上、障害物を感知すると自動的に距離を調節しますのでお待ちください。
それでもトイレブースの壁や便器を感知する場合は、感知距離の再設定が必要となります。
設定方法は「7-7 切替スイッチの調節」を参照してください。
ドアを開けたままで人体センサーの感知表示ランプが点滅する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。

※人体センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。
またバックアップ電池の早期切れにもなり、寿命が短くなります。



スイッチユニットと自動バルブユニットの同期がとれていることを確認してください。同期のとりかたはスイッチユニットの施工説明書または自動バルブユニットに同梱されている取扱説明書をご確認ください。

センサースイッチでの洗浄

※人体センサー(オートクリーンC本体)の感知が2秒以上必要です。
別売品のセンサースイッチ使用時、手かざしセンサーから5cm以内に約2秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

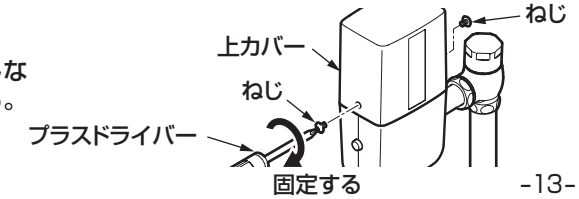
タッチスイッチでの洗浄

※人体センサー(オートクリーンC本体)の感知が2秒以上必要です。
別売品のタッチスイッチ使用時、ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

使用者に操作方法がわかるように、ラベルを見やすい壁面に貼り付けてください。

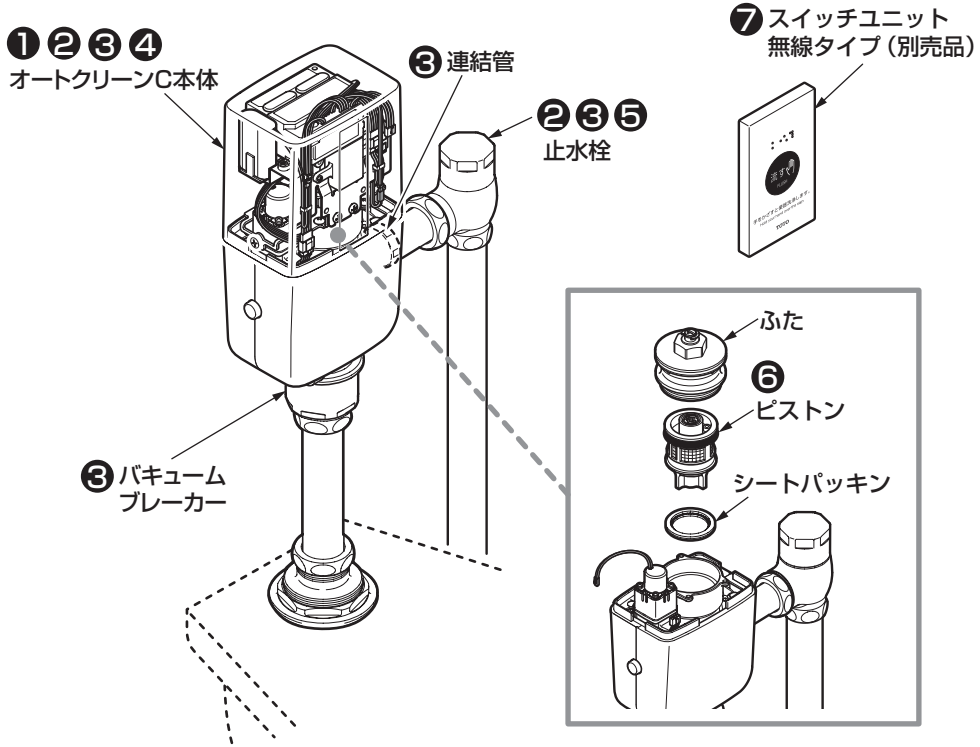
15 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分注意しながら上カバーをセットし、ねじで固定する。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクターが接続されているか確認してください。

❶ コネクターは確実に接続していますか？

↳ 7-6 ー 10「コネクターの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❷ オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けていますか？

↳ 7-6 ー 9「オートクリーンC本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❸ 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 7-4 ー 5「連結管を交換する場合」参照

↳ 7-5 ー 6「バキュームブレーカーの取り付け」参照

↳ 7-6 ー 9「オートクリーンC本体の取り付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

❹ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

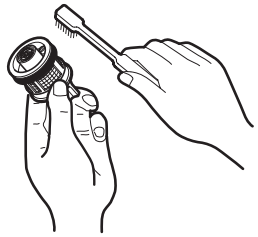
↳ 7-2 7-3 7-4 ー 4-1 4-2 4-3「洗浄水量の調節」参照

❺ 止水栓は開いていますか？

↳ 7-8 ー 13「水勢の確認」参照

❻ ピストンのごみ詰まりはないですか？

↳ ピストンの掃除をする。
掃除方法は取扱説明書を参照してください。



同期の確認

スイッチユニット（別売品）とセットするときは、正しく同期設定されているか確認してください。

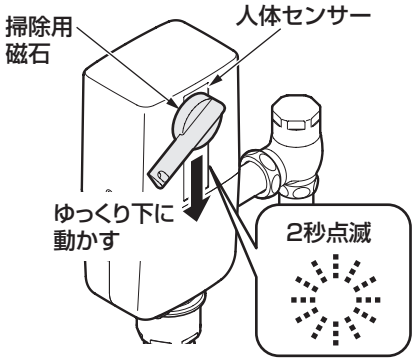
❼ スイッチユニットは正しく同期設定されていますか？

↳ 7-8 ー 12「スイッチの同期」参照

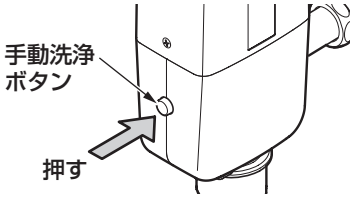
9 発電機の確認

取り付けが完了したあと、発電機の作動チェックを行ってください。

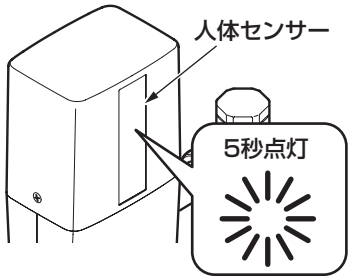
1. **人体センサーのガラス上部からゆっくり掃除用磁石を下に動かし、窓部のランプが2秒間点滅するまで掃除用磁石を当てる。**
   洗浄停止モードに入ります。



2. **手動洗浄ボタンで水を流す。**
   バルブ本体の手動洗浄ボタンで水を流します。



3. **人体センサーのランプが5秒間点灯することを確認する。**
   羽根車が正常に作動していれば、人体センサーのランプが5秒間点灯します。



人体センサーのランプが点灯しなければ羽根車が停止しています。

TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

TEL 0120−1010−05　FAX 0120−1010−02

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。